



やず町議会だより

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641



新規購入の八頭中学校スクールバス

もくじ

- 3月定例会
 新年度予算を可決……………2
- 新体制でスタート……………5
- 一般質問（9人が質問）……………7
- 議案等議決結果……………16
- 6月定例会予定……………18

第41号

(平成27年5月)



町の花「さつき」

新年度予算を可決

一般会計予算 98億円

3月定例会を3月4日から3月24日まで21日間の会期で開催した。

提案された議案は、人事案件（人権擁護委員推薦）3件、第2次総合計画の策定、過疎計画の変更、15会計の新年度予算、法改正等に伴う条例の制定、改正が30件、竹林公園等の指定管理者の指定2件等で合計66議案が提案され、いずれも原案通り可決した。一般質問は9人が町政について質した。

平成27年度予算

一般会計を含め15会計の新年度予算を可決した。

各会計予算の総額は別表の通りだが、本年より交付税の合併特例分が5年をかけ減額となること、国保会計や介護保険会計が増額傾向にあること等厳しい財政状況が続く。

また、地方創生総合ビジョンについて、本町も9月末ごろまでに対応することとしていて、今後財政が膨らんでくることが想定される。

一般会計当初予算

（主な事業）

- 社会保障・税番号制度事業 2934万円
- マイナンバー制度の導入準備費用。
- 情報通信基盤整備事業 9664万円
- 若桜鉄道対策費 1億1810万円
- 国勢調査費 666万円
- 臨時福祉給付金支給事業 3230万円

- 包括支援センター事業 1757万円
- 地域支え愛体制づくり事業 692万円
- 集落支援事業 1238万円
- 自立支援制度事業費 3億9025万円
- 後期高齢者医療総務費 2億117万円
- 児童手当給付事業 2億5238万円
- 保育所運営費 2億5049万円
- 保育所施設整備事業費 2644万円
- 船岡地域統合保育所の設計管理費用。
- 生活保護扶助費 1億8914万円
- 長寿健康増進事業費 4298万円
- 強い農業づくり事業 2億1600万円
- 多面的機能支払交付金事業 9171万円
- 野生鳥獣被害防止事業費 4521万円
- 消防団運営費 5357万円
- スクールバス管理運営費 5417万円
- スクールバス整備事業費 3845万円
- 冬期間の通学用とし

て、中型バス1台の購入費用とスクールバスの車庫を整備する費用。

第2次総合計画を策定

本町も合併して10年が経過し、第1次の総合計画の計画期間を終了した。1次計画では、合併時に課題とした学校統合や各種施設の統合、行政システムの対応、施設の安全対策や防災対応の構築、情報通信網の整備、公共交通体制の整備等々を事業化し実施した。

「第2次八頭町総合計画」は、新たに平成27年度から平成36年度までの10年間の町の将来像を示すもので、「人が輝き・未来が輝くまち・八頭町」とし、「豊かな自然とともにみんなで作るふれあいのまち」をキャッチフレーズに、次の7項目を基本目標としている。

- 住民が主役のまちづくり
- やすらぎと生きがいのあるまちづくり
- 安心安全な暮らしづくり
- 環境共生のまちづくり

- 活力ある産業づくり
 - こころ豊かな人づくり
 - 効率的で効果的な行政運営
- 具体的な事業内容を前期5年間の「実施計画」として提案。

条例改正

（主なもの）

- ◆八頭町行政区長設置条例の一部改正

宮谷地内の宅地造成でできた「つつみヶ丘」を新たに行政区の中に加えるもので、行政区長は130人となる。

- ◆八頭町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正

大御門保育所閉所に伴い、通所用等到大御門・国中線を新設、7路線で運行中の町営バスが8路線となる。

- ◆八頭町立学校施設使用条例の一部改正

中学校統合に伴い、中央中学校を「八頭中学校」に施設名称の変更、船岡中学校の体育館を廃止、船岡中学校のグラウンドと八東中学校のグラウンドを社会体育施設とする。

指定管理者

- ◆竹林公園及び西谷食材供給施設

（管理者）
株式会社 遠藤農園
代表取締役 遠藤禮子氏
指定管理料（平成27年度）628万円

- ◆下私都改善センター（農産物食品加工室・加工品貯蔵庫等）

（管理者）
有限会社 こおげ農業開発センター
代表取締役 滝田常生氏
指定管理料 無料

指定の期間は両施設とも平成27年4月1日から平成30年3月31日まで3年間。

人事

- 人権擁護委員

宮田玲子さん（石田百井）
湯浅宗生さん（船岡殿）
小林英樹さん（中）
が推薦され同意した。

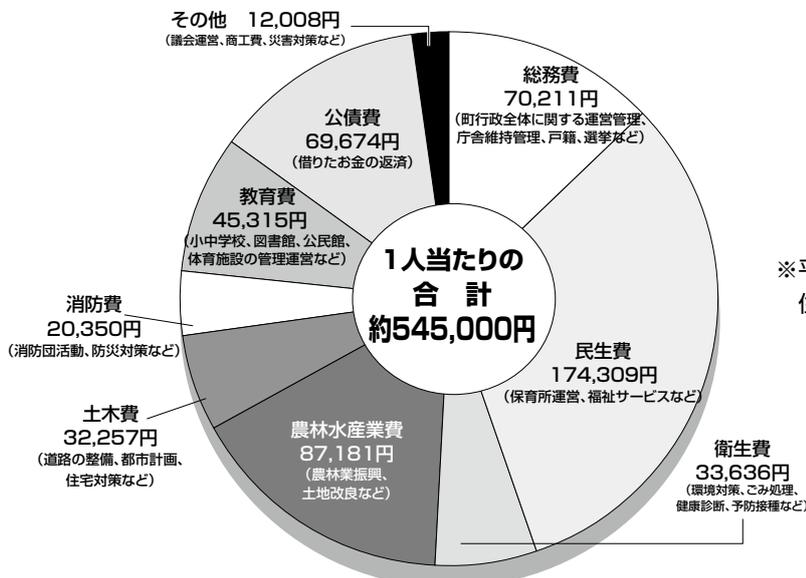
平成27年度 当初予算会計別対前年度比較

（単位：千円・％）

会計	平成27年度	平成26年度	増減	
			増減額	増減率
一般会計	9,895,000	10,108,000	△ 213,000	△ 2.1
国民健康保険特別会計	2,435,000	2,173,000	262,000	12.1
簡易水道特別会計	317,000	273,000	44,000	16.1
住宅資金特別会計	6,800	5,100	1,700	33.3
公共下水道特別会計	415,000	406,000	9,000	2.2
農業集落排水特別会計	690,000	697,400	△ 7,400	△ 1.1
介護保険特別会計	2,368,000	2,196,000	172,000	7.8
宅地造成特別会計	15,700	20,700	△ 5,000	△ 24.2
墓地事業特別会計	500	1,900	△ 1,400	△ 73.7
後期高齢者医療特別会計	184,200	184,900	△ 700	△ 0.4
財産区特別会計（※）	39,210	32,268	6,942	21.5
全会計 合計	16,366,410	16,098,268	268,142	1.7

（※）財産区特別会計は、5つの財産区特別会計の合計です。

町民1人当たりの予算額（一般会計予算）



請願・陳情の審査

○不採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
集团的自衛権関連法案を国会に提出しないよう求める陳情書	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	国を二分する議論があるが、平成19年12月議会、平成26年6月議会とも不採択である	—
治安維持法犠牲者に国家賠償を求める陳情書	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟鳥取県本部 会長 保田 睦美	旧3町時代には趣旨採択をしているが、司法対応をしている例もあり、制定は困難である	—
中学校で使用する歴史・公民教科書の採択基準に関する陳情	教育を考える鳥取県民の会 会長 河合 鎮徳	基準を数値化することは、困難である	—
教科書採択改善のために、総合教育会議（設置）の準備に関する陳情について	教育を考える鳥取県民の会 会長 河合 鎮徳	行政が、教育に参加することは好ましくない	—

平成27年
第1回臨時議会
2月5日

工事請負契約の締結

◆（仮称）郡家東保育所
工事請負変更契約の締結
○変更金額

142万5600円
最終金額 4億4314万5600円。

○工期

平成27年3月20日

○変更の理由

金額の増額要因は、敷地の粘性土対策で表層改良及び仮設に敷鉄板を追加。また、主な減額要因として、地震時に建物の変形等に対応する内装のアルミ材の板材への変更、敷地の仮囲いの延長減と高さを低くしたこと。

工期変更の理由は、集材の材料である鳥取県産材の挽き板の収集に時間がかかったこと、また、現場の建て方に係る作業員の不足。
○契約の相手

田中・東洋・中田特定
建設工事共同企業体

反対討論 坂根議員

もともとの計画はどういう積算でなされたのか。全般的に「気合い」が入っていない。「作業員がいらない」とは何を言っているか。だから反対する。

◆（仮称）郡家東保育所
電気設備工事請負変更契約の締結
○工期

平成27年3月20日

○変更の理由

建築本体の遅延。

○契約の相手

シグマ電機株式会社

◆（仮称）郡家東保育所
機械設備工事請負変更契約の締結
○変更金額

164万1600円
最終金額 9344万1600円。

○変更の理由

増額要因は、園庭の芝生への散水用スプリンクラー設備の追加。減額要因は、幼児用バス（風呂）

設置の取りやめ。
○契約の相手
サンユー技研工業株式会社

補正予算

◆平成26年度一般会計
補正予算（第9号）
既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ4610万7000円を追加。
〈主な歳出〉

○電算業務委託料

277万円

保育料納付書読み取りシステム改修によるもの。

○日本交通バス路線赤字補填補助金

167万円

○郡家保健センター増改築事業

3240万円

○新規就農者総合支援事業

750万円

○野生鳥獣被害防止事業

1043万円

○除雪対策費

2750万円

新体制でスタート

新議長に 谷本 正敏 議員

副議長に 栄田 秀之 議員

議長、副議長から辞職願が提出されたことに伴い、4月30日開催の第4回臨時会で新議長、副議長の選出を行った。

また、任期満了（2年）に伴う常任委員会、議会運営委員会の委員構成の決定と各委員会の委員長、副委員長の互選を行った。

就任ごあいさつ



議長
谷本 正敏

新緑と花に溢れる今日の頃、町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る4月30日に招集されました第4回臨時会において、議員の皆様のご推挙により議長のお務めに就くことになりましたことは誠に身に余る光栄であります。

り、心より感謝している次第でございます。

議会運営につきましても、不偏不党、公正無私の立場を堅持し、ここにお誓い申し上げます。本町の限らない発展を目標にし、町民主権の均衡ある政策立案と安心安全を基本とした具体的な議会改革に全力で取り組む所存であります。

皆様の格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



副議長
栄田 秀之

陽春の候、皆様にはいよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、4月30日開催の第4回臨時会におきま

して、副議長に選任されました。副議長を拝し、その責任の重さを痛感いたしております。

議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努める所存でございますので、なにとぞ、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

自治功労者表彰

2月18日自治功労として次のとおり表彰された。

○全国町村議会議長会表彰

・町村議会議員として15年以上在職し、功労のあった者
小林 久幸 議員

○鳥取県町村議会議長会表彰

・町村議会議員として21年以上在職し、功労のあった者
河村 久雄 議員

・町村議会議員として13年以上在職し、功労のあった者
谷本 正敏 議員
桑村 和夫 議員

平成27年

第2回臨時会

2月20日

補正予算

◆平成26年度一般会計補正予算（第10号）

既定の歳入歳出予算に、それぞれ1億779万7000円を追加。

（主な歳出）

○子育て支援付プレミア△商品券発行事業 2015万円

○低所得者向け灯油購入助成事業 820万円

○高齢者所帯への生活支援事業 892万円

○小・中新生商品券発行事業 344万円

○障がい者生活支援事業 713万円

○地方版総合戦略策定事業 300万円

○多子世帯保育料軽減子育て支援事業 3879万円

○保育サービス多様化促進事業 2715万円

○地域福祉拠点施設形成 781万円

委

員

構

成

選出の方法

□議長・副議長

全議員15人の無記名投票による選出。

〈議長選挙投票結果〉

谷本正敏 議員 11票
川西 聡 議員 3票
河村久雄 議員 1票

〈副議長選挙投票結果〉

栄田秀之 議員 13票
坂根實豊 議員 1票
無効投票 1票

□委員会の所属

議員の希望を可能な限り考慮し、議長が決定。

□委員会の委員長、副委員長

各委員会委員の互選により選任。

産業福祉常任委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
栄田秀之	河村久雄	奥田のぶよ	下田敏夫	山本弘敏	高橋信一郎	小倉一博

福祉環境課、福祉事務所、保健課、産業観光課、農業委員会、地籍調査課、建設課及び上下水道課の所管に属する事項

総務教育常任委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
谷本正敏	尾島勲	川西聡	西尾節子	坂根實豊	小林久幸	池本強	桑村和夫

出納室、税務課、総務課、選挙管理委員会、企画課、男女共同参画センター、議会事務局、監査委員、人権推進課、及び教育委員会の所管に属する事項

議会運営委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
河村久雄	川西聡	小倉一博	桑村和夫	尾島勲	山本弘敏

議会の運営、議長の諮問に関する事項等を担当

議会広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
栄田秀之	河村久雄	下田敏夫	坂根實豊	小林久幸	奥田のぶよ	川西聡

議会だよりの編集・発行、議会ホームページの編集・掲載、議会広報に必要な調査等を担当

- ◆鳥取県東部広域行政管理組合議会議員
谷本 正敏 桑村 和夫
- ◆八頭環境施設組合議会議員
谷本 正敏 桑村 和夫
- ◆鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員
小倉 一博

八頭町議会議員

川西末男氏 ご逝去



3月2日、八頭町議会議員川西末男氏（才代）が逝去されました。

川西さんは、平成11年から旧八東町議会議員、平成21年からは八頭町議会議員として4期11年8カ月の長きにわたり地方自治の発展に尽くされました。

旧八東町では副議長、市町村合併特別委員会副委員長、八頭町においては議会広報常任委員長、議会運営委員長等を歴任されました。

八頭町議会では円滑な議会運営を推進され、議員の信望を一身に集めておられました。

益々のご活躍を期待しておりますが誠に残念です。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

地方創生

進める日程はどうか

町長／9月末までに策定したい



西尾 節子 議員

質問

「まち・ひと・しごと創生法」の施行に伴い、法に基づく地方創生本部が設置された。

政府は『地方創生計画の策定に当たっては、各地方公共団体が主体性を発揮しつつ、様々な年齢の住民をはじめ、産学金労等の関係者の意見を聞く。成果目標も客観的な評価指標の設定やPDCAサイクルを実施することが重要であり、地方議会も総合戦略の策定・推進等の各段階で十分議論がなされることを期待する』という力の入れ方である。

答弁

吉田町長

4月に役場内部で地方創生推進本部を立ち上げ、八頭町総合戦略策定委員会を設置する。

町版の戦略策定に着手し、町民や議員各位の意

見を聴きながら、9月末までに策定できればと思う。

メンバー構成は、農業団体・商工業団体・大学・

金融機関・各種団体の代表者を予定している。現在は、第2次総合計画と本町の人口対策ビジョンが、総合戦略のベースとなると考えており、既に地方創生はスタートしていると考えてもよいのではないかと思う。

地域福祉

計画推進の今後は

町長／住民全体で組織の立ち上げを

質問

3つのモデル地区で取り組んで3年経過し、その後手を挙げられた地区から進められている。

残る地区は、集落数や人口が多いとか、面積が広いとか手を挙げにくい地区だと思う。最終は何年にするつもりで進めているのか。

答弁

吉田町長

モデル地区としてスタートした上私都・済美・安部に加えて、大江・下私都・東郡家・大御門地区で、地区福祉推進組織

が設置された。

平成26年度末に、中私都・下私都・たから・大御門保育所が閉所になることから、それぞれの地区に出かけ、取組や活動の拠点として、跡地利用について地区と協議を重ねてきた。

活動拠点は、地区公民館や改善センターなどの公共施設を利用しながら空き施設ができた段階で、整備する場合も出てくる。

あくまでも、住民主体で組織を立ち上げることが前提となる。

できるだけ早く、それぞれの地区で組織を立ち上げて、拠点施設の整備ができればと考えている。



▲ 健康教室（済美地区）



池本 強 議員

次期計画はどうする

町長／実績検証と意識調査を踏まえて計画

同和対策事業

【質問】

①部落差別撤廃・人権擁護総合計画、それに基づく実施計画とも平成27年度をもって期限となっている。

この10年間の取り組み実績、成果を踏まえ、今後同和対策事業にどう取り組んでいくのか。

②特別法失効前の地対協の意見具申、また当時の政府の所見等について、本町の実態を検証のうえ、次の方向性を打ち出すことが必要ではないか。

地対協の意見具申は、今後の施策の適正な推進と、行政の主体性の確立として「民間運動団体に対する地方公共団体の補助金等の支出の一層の適正化、公的施設の管理運営の適正化、教育の中立性の確保、地方税の減免の適正化に取り組みべきである」と言っているが町長の見解は。

③審議会で審議するのは当然だが、今は町長の見解を求めている。同

また意見具申では、同

和問題についての自由な意見交換のできる環境づくりとして「同和問題は怖い問題であり、避けた方がよいという風潮は、依然としてえせ同和行為

が背景となり、行政の主体性の欠如を生み、この問題に対する自由な意見交換を阻害してきた。教育や啓発を真に実効あるものとし人権が尊重される社会を築きあげていくには、その基盤として、

同和問題に対する正しい認識を深めるための自由な意見交換のできる環境づくりが不可欠である」と言っているがどうか。

④町の第2次総合計画案に「部落差別撤廃・人権擁護総合計画並びに実施計画が27年から36年までの期間で策定、実施する」とあるが、誰が決めたのか。またそれは「人権教育啓発について」とあるが、同和対策事業全体についてではないということか。

【答弁】

吉田町長

①部落問題に取り組む人

の輪が広がり、差別、人権問題全般に対する取り組みへと進展した。

27年度に施策の実績、成果等の検証と総括を行い、町民意識調査の結果を踏まえて、計画を策定したい。

②税のこと、個人給付の面についても、審議会等で検討していただきたい。

③自由な意見交換というか、そういった環境づくりは必要だと思う。部落学習会等でもそういった面は進展している。

④今の時点でははっきりしない部分があるので、検証したうえで計画だ。

人権施策は今後も継続していく必要がある中で10年で、全体かどうかは少し検討したい。



▲ 隼地区同和教育推進委員会開催 (H27.4.23 隼地区公民館)



奥田のぶよ 議員

八頭町音頭

PR活動は

町長／精力的に取り組む



▲ やずびよんテーマソング・ダンス

質問

町のPR活動において「八頭町音頭」「やずびよんダンス」の活用とPR活動の発展について問う。

答弁 吉田町長

八頭町音頭は、全集落、各団体、小・中学校にCDを配布し講習会等も開催した。現在では町民皆様方に浸透し活用されて

いる。八頭町PR隊も結成し、町内外を問わず各種イベント等、踊りで盛り上げている。

やずびよんダンスは現在、各保育所で覚えてもらっている。次は、小・中・高校・大学と広げ、さらに交流の拡大を目指し、大阪の住吉区に出向き覚えてもらう新たな展開を考えている。

27年度は「くまモン」

通学路

環境整備は

教育長／安全確保を図る

質問

が本町にきて一緒に踊り、全国発信できるように計画を予定。新商品の開発や経済効果上がるように取り組んでいく。

答弁 吉田町長

対応できるように検討したい。

① 郡家警察署と協議し、本町内の歩道は全て自転車通学する際は通行可能になった。

② 街灯は国土交通省へ要請している。歩道の一部狭い箇所は27年度に工事予定だ。

③ 生徒、保護者には指定した通学方法を遵守してもらおう。やむを得ず送迎する際は造成した駐車場で乗降。特別な事情がある場合は玄関まで送迎を許可する。

④ 船岡地域の自転車通学路にもなるが拡張、改良は考えにくい。

質問

通学路の新たな標識は考えないか。

答弁 菟田教育長

標識等含め検討する。

○その他の質問

・八頭町成人式について

質問

平成27年4月に八頭中学校が開校される。通学路の安全確保、通学方法について次の4点を問う。

① 自転車歩道通行可の範囲がわかりにくいのが支障はないか。

② 国道29号線の郡家から西御門までの道路は街灯が少なく暗い。歩道等含め環境整備ができないか。

③ 雨天時等、自家用車で送迎する際のルールは。

④ ランチルーム横を通り学校へ行く道路が狭いが、道路の拡張や通学路の標識等の対策は。

答弁 菟田教育長

基本的に、生徒の通学路は学校長の指定した通学方法となる。学校長は教育委員会等関係機関と協議し、安全な通学路を設定する。

26年度から県、警察、町の関係機関が通学路安全推進会議を設置し安全対策を講じている。



山本 弘敏 議員

地方創生

何に取り組むか

町長／総合戦略策定委員会を設置する

質問

地方創生について執行部の考え方や姿勢が見えない。

次の4点町長に伺う。

① 1月16日に県庁で、東部地域の首長が自分の町の取り組みを話し合ったが、本町は地方創生についてどのような問題に取り組むように話したか。

② 1月21日に職員から意見を聞く発表会をしたようだがどのようにまとめたか。

③ 石破地方創生担当大臣から書簡が届いていると思うが、どのように受けとめているか。

④ 最終的にどのようなようにまとめているつもりか。

答弁

吉田町長

① 昭和60年わかとり国体以降、ホッケーを続けている町として東京オリンピックキャンプ地誘致活動と、若桜鉄道を活用した人口の増大、観光客誘致。

② 20人の若手職員が教育・産業・福祉・地域活性化の4グループに分か

れて協議し、1月28日、44項目にわたる最終提案書の提出があった。

③ 書簡には人口減少や超高齢化社会を迎え、地方創生に真正面から取り組むこと、地方版総合戦略を策定し、国と地方が総力を挙げて地方創生を推進することなどだった。

大臣のメッセージを重く受けとめ、地方創生を力強く推進すべく町民の意見を聞きながら努力していく。

④ 4月、役場内に地方創生推進本部を立ち上げるとともに、産・官・学・金による総合戦略策定委員会を設置し、人口減少対策ビジョンと総合戦略を策定する。

質問

4月11日(土)に、鳥

取県発「地方創生号」と銘打って若桜・八東駅間に一往復運転する、SL走行社会実験と若桜鉄道について、6点町長に伺う。

① 本町としてどのようなことに取り組んでいくか。

② メリットは何か。

③ 今後の走行社会実験は。

④ 動態に整備して走らせる気持ちがあるか。

⑤ 社長の任期を2年にした根拠は。また3年か5年にする気持ちはないか。

⑥ 社長の家賃を若桜町と本町で負担する考えは。

答弁

吉田町長

① 式典や各駅のイベント

若桜鉄道

**蒸気機関車が走る
本町のメリットは
町長／宿泊や飲食など
経済効果が大きい**

関係の企画・調整の支援だ。

② 町内での宿泊や飲食などの経済効果も大きい。

③ 今回の実験を検証した上での判断だ。

④ 本格的なSL運行にはハードルが高い。

⑤ 定款では2年だが、取締役会で再任も可能だ。

⑥ 家賃の負担は現在考えていない。



▲ SL 走行社会実験 (八東駅)



尾島 勲 議員

第2次総合計画

第1次総合計画を
磨き上げた点は
町長／第3子以降の
保育料の無料化

【質問】

第1次八頭町総合計画、第2次八頭町総合計画の相違点、改良し磨き上げた点は何か。

【答弁】

吉田町長
第3子以降の保育料の無料化など、子育て支援の充実だ。

【質問】

保育料の完全無料化を検討中だと聞いているが。

【答弁】

吉田町長
職員体制、財政面など色々加味したうえで、現在検討中だ。

【質問】

町民が主体となって行政に関わり、計画を作成する場や組織ができないか。例えば智頭町百人委員会のようなものを。

【答弁】

吉田町長
20人から30人くらいで委員会の立ち上げを検討したい。

【質問】

本町の中学校生徒会や鳥取環境大学生との意見交換会、役場若手職員政策提案プロジェクトチームの提案を採用したか。

【答弁】

吉田町長
八東川水辺プラザあたりか、河原インター線船岡インター付近にニュータウンの整備や、若桜鉄道を活用した観光振興などを考えている。

育備環境 学校整備

ICT導入の現状は
教育長／年次的な
導入を考える

【質問】

八頭中学校学校案内のトップページに、ICT（情報通信技術）という具体的な表現があることを踏まえ、教育現場におけるICT活用に向けた現状および今後の取組みを伺う。

また、第2次八頭町総合計画中の、タブレット50台、電子黒板6台導入の時期、方法、場所を伺う。

【答弁】

菟田教育長
平成29年4月の小学校統合を見据え、平成27年度中に具体的な年次的導入計画を立てたい。

【質問】

ICT教育とアクティブラーニング（能動的学修）の関係をどのように捉えているか。

【答弁】

菟田教育長
グループディスカッション、発見学習などで既に行っている。一方的に授業を聞くのではなく、重要性、興味・関心が非常に高まり有効な手法だ。

○その他の質問

・ふるさと納税の取り組みについて



▲ ICT教育の推進を図る八頭中学校



小倉 一博 議員

地方創生

農業の次の担い手は

町長／認定農業者を核に育成

質問

合併して10年が過ぎ、2期目の総合計画も提案された。新たなスタートラインと思っているが、次の点を問う。

- ① 国が唱える、「地方創生」への町長の考えは。
- ② 国が進める農業改革にどう対応するのか。
- ③ 本年度予算について。
- ④ 地方交付税の合併算定替え部分の減額対応は。
- ⑤ 少子化、高齢化への予算対応は。

答弁

吉田町長

① 4月に総合戦略策定委員会を設置し、八頭町人口ビジョン及び八頭町総合戦略を9月末ごろまでに策定したい。

② 国の方向性にまだ不明な点が多いので明確に言えないが、担い手の育成、経営規模の拡大、耕作放棄地の発生防止や解消、生産調整の見直し等の方向だ。

農業者が経営感覚を持ち、消費者ニーズに対応できる環境整備や地域経済に貢献できる仕組み作りを検討したい。

質問

③ 合併算定替えの差額について、国の見直しにより縮小の方向にあるが、対策本部を設置して対応している。

- ④ 老人福祉費に4億1600万円余を計上。老人クラブやシルバー人材センターの補助金は、地域の担い手として活動を助成している。
- ⑤ 24年から始めた集落支援員を中心とした「まちづくり委員会」の経費や拠点施設整備費を計上している。

質問

吉田町長

少子化対策としては、保育料の減免、保育サービスの充実、子育て支援センターの整備等だ。

総合計画がスタートして、新たに地方創生の総合ビジョンを計画することになるが、整合性はど

質問

うなるのか。地方創生は、総合計画の中の行政課題全てを対象にするのか。重点政策として一部分を抽出するのか。

- ⑥ 最大の課題は人口問題であり、若年層の就業場の確保だと思うが。

答弁

吉田町長

企業誘致については、圏域での取り組みや交流人口ということも考える必要がある。

農作業の受委託が進んで農業に携わる人が激減している。農業体験をする人が減るなかで、どこで農業の「次の担い手」を育てていくのか。

質問

育成に努める。

○その他の質問

- ・子育て支援策を問う

答弁

吉田町長

認定農業者を核にして



▲ 大切にしたい米づくり



川西 聡 議員

図書館司書

正規職員に

町長／現状の形態で運営したい



▲ 移動図書館（見観中）

質問

住民の生涯学習を援助したり、学校の児童、生徒の学習や読書の意欲を満足させるような環境を整備するために、図書館司書の配置は必要である。

本町は3地域の図書館も学校図書館も非正規職員が配置されていて1人の正規司書も採用されていないのが実情である。

平成25年6月の国会で

「学校図書館法」の改正が行われ、学校図書館に正規職員、臨時職員に拘わらず司書の配置が自治体の努力義務となった。本町は既に配置済みであり「先進」とは云えるが、法律改正は司書自体の専門性を看過しないで重視していることは間違いない。

このことに照らしてさ

特別医療費

助成の対象を高校卒業までに町長／導入を目指したい

え、3地域や学校図書館

司書を図書館運営に必要な不可欠な要員であると位置付け、正規職員として徐々に採用を図るべきだと考えるが所見は。

吉田町長

減の最中で厳しい状況だ。当面は現状の形態で運営したいと考える。

質問

①児童福祉法第2条は、「国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」と規定していて、法律の対象は18歳未満である。現在、本町の特別医療費の助成対象は中学卒業までだが、対象を高校卒業までに拡大すべきと考える。所見は。

質問

底を図るべきではないか。

吉田町長

対象者や減免の事由、生活困窮の程度等を「国民健康保険一部負担金減免等に関する要綱」に定めている。

②平井知事は2月（県議会）定例会の一般質問に對して、「高校卒業までの小児医療助成は手の届かない範囲でもない」と答弁している。県の負担が約450万円で、概算で町の負担分はその半分の約220万円を見込んで

いる。福祉政策の一環として、県と協議し導入を目指したい。○その他の質問・登録型本人通知制度の問題点について

多い。

広報等で制度の周知徹底

②減免の制度については、



柴田 秀之 議員

予
算

一般会計の方向性は

町長／縮小の予算規模だ

質問

予算は、町が年度に実施したい事務、事業にかける経費とそれを賄うために必要な財源をどのよう
に調達するかを計画し金額で表示したものであり、町の1年間の収入と支出の見積もりだ。

町民に対して税金を義務づける見返りとして、どんな行政サービスを行い福祉向上に努めるかを約束するものだ。

町長に伺う。

①27年度から交付税の縮減が始まる、今年度の財源見通しは。

②人件費の抑制策について、人件費の県内類似団体と比較してどうか。

③経常収支比率の前年対比は。

④町税の前年度との対比及び滞納繰越分の徴収対策は。

⑤町単独財源で継続している補助金の効果、必要性の検証は。

答弁 吉田町長

①交付税減少対策本部を設置している。当初予算

は昨年より2・1%縮小した。

②定員適正化計画を作成し効率的で質の高い行政サービスを提供するために取り組んでいる。

③比率は83・6%で1・3ポイント改善した。

④町税は前年より2311万円減少した。徴収対策は対策本部・専門員等により収納に努める。

⑤各種事業の補助金の見直しを検討し、効果、必要性の検証などを行う。

質問

一般会計当初予算は前年より2億1300万円少なくなっているが、全会計では前年より2億6800万円増加となっているがなぜか。

答弁 吉田町長

要因は、国保の特別会計で2億6000万円、介護保険で1億7000万円それぞれ増加したことによる。

質問

日本創成会議がまとめたリストによると2040年には本町の人口は、1万2529人まで減少する推計をした。町村で状況を分析した上で、どういった戦略で人口を増やすかを考える必要があるとしている。

総合戦略について町長に伺う。

①北栄町は町内外を問わず、斬新なアイデアを求めている。本町の人口減少対策取り組みは。

②自治基本条例に町民の参画と協働を定めている。

いつ、どの時点で戦略について町民の意見、意思を反映させるのか。

総合戦略

人口減少対策は

町長／対策ビジョンを策定する

答弁 吉田町長

①人口減少対策ビジョンを策定し、さまざまな施策を展開する。

②総合戦略の素案作成と

同時並行で実施したい。方法は検討する。



▲ 八頭町・地方創生



高橋 信一郎 議員

部署の配置

教育関係のみを
八東庁舎にした理由は

町長／事務の遂行上望ましい

質問

地方創生は現行の国の補助金政策の中にあつて、これまでとの違いが分からないが、その前段として地方創生を考えて行く部署、実行して行く部署が適正・明確でなければならぬと考える。

そうした中、部署の配置を役所目線の効率だけで求めるのは行政不信を招くだけで些か疑義を感じず。

①何故、教育関係のみを八東庁舎にしたのか。

教育委員会が郡家一極集中の隠れ蓑にされているのではないかと感ずるが、他の現業課の配置は考えなかったのか。

②本庁舎が郡家でなければならぬ理由は何か。八東庁舎は現業課が少ないために感覚的に見放されている感じがする。

本庁舎が郡家でも町長の居場所が八東であれば、これまで見えなかったものも見えて来ると思うがどうか。

町民との接点は住民サービスの基を成すもので、地域の士気にも関わ

る。③12月議会で数人の議員が産業観光課の分課（産業課と観光課）を提唱していたにも拘らず関西事務所まで所管に加えた。

事務処理の煩雑さからの脱皮、スピード感や問題処理の正確性が求められる中、何故このような体制にしたのか。

④企画課の中に若桜鉄道対策室が設置してあることに違和感を感じる。若桜鉄道の新社長は観光資源として地域の活性化に資したいと公言されている。だとしたら、観光に係る部署の所管とするのが妥当ではないか。

答弁 吉田町長 ①以前から教育委員会事務局を八東庁舎に配置しており、人権教育に関する人権推進課の配置も事務の遂行上、望ましいと判断した。

合併から10年、一体性ということまで理解してもらいたい。

②本庁舎は八頭町の位置

条例で郡家と定め分庁方式で業務を行っている。例えば、年に3分の1

ずつ各庁舎に居るという訳にはならず、決して八東を見放しているとは思っていない。

③人脈を最大限利用し、特産品や観光商品などの販路開拓の取組みをすすめる。

よつて、農・林・商・工・観・官が連携し経済の活性化が図られるよう関西事務所を加えた。

④若桜鉄道は鉄道事業法で認められている「若桜鉄道株式会社」と「八頭町」「若桜町」で運営している。

主たる役割は地域の公共交通機関としての責務を果たすことだと考えており、交通政策を担っている企画課に配置することが妥当である。



▲ 八東庁舎の出入り

一般質問 いろいろが聞きたい

議案等議決結果

(第1回、第2回臨時会・第3回定例会)

○賛否の分かれた議案

議案等番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
		山本弘敏	小林久幸	坂根實豊	下田敏夫	奥田のぶよ	川西末男	西尾節子	小倉一博	栄田秀之	川西聡	桑村和夫	尾島勲	高橋信一郎	池本強	谷本正敏	
第1回臨時会 (2/5)																	
1	(仮称) 郡家東保育所建築工事請負変更契約の締結について	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	(仮称) 郡家東保育所電気設備工事請負変更契約の締結について	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	(仮称) 郡家東保育所機械設備工事請負変更契約の締結について	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	平成26年度八頭町一般会計補正予算(第9号)	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3回定例会 (3/4～3/24)																	
議案等番号	件名	山本弘敏	小林久幸	坂根實豊	下田敏夫	奥田のぶよ	欠員	西尾節子	小倉一博	栄田秀之	川西聡	桑村和夫	尾島勲	高橋信一郎	池本強	谷本正敏	結果
11	竹林公園及び西谷食材供給施設の指定管理者の指定について	×	○	無効	○	○		×	×	○	×	×	○	○	×	○	可決
31	八頭町立学校施設使用条例の一部改正について	○	○	○	×	×		○	○	○	×	○	×	○	×	○	可決
32	八頭町交流施設条例の一部改正について	○	×	○	×	×		○	○	○	×	○	×	○	×	○	可決
33	八頭町社会体育施設条例の一部改正について	○	×	○	×	×		○	○	○	×	○	×	○	×	○	可決
39	八頭町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
54	平成27年度八頭町一般会計予算	○	○	×	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
55	平成27年度八頭町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
63	平成27年度八頭町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
発議1	「八頭町立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」案の提出について	×	○	×	○	○		×	×	×	○	×	○	×	○	×	否決
陳情1	集団的自衛権関連法案を国家に提出しないよう求める陳情書	×	×	×	×	×		○	○	×	○	×	×	×	○	×	不採択
陳情2	治安維持法犠牲者に国家賠償を求める陳情書	×	×	×	×	×		○	×	×	○	×	×	×	○	×	不採択
陳情3	中学校で使用する歴史・公民教科書の採択基準に関する陳情	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択
陳情4	教科書採択改善のために、総合教育会議(設置)の準備に関する陳情について	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択

賛成「○」、反対「×」、議場退席「-」、欠席「欠」で記載。議案の採決は、河村久雄議長を除く14人で行う。

※議案第11号、第32号については会議規則第81条第2項の規定による記名投票結果を記載。

○全会一致で可決した議案

議案等 番号	件名	議案等 番号	件名
第2回臨時会 (2/20)			
5	平成26年度八頭町一般会計補正予算 (第10号)		
第3回定例会			
6	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (その1)	41	八頭町企業立地促進条例の一部改正について
7	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (その2)	42	八頭町農業集落排水施設条例の一部改正について
8	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (その3)	43	八頭町民間企業の宅地造成事業に伴う補助金交付条例の一部改正について
9	郡家駅コミュニティ施設整備事業 (工事) 変更協定の締結について	44	八頭町営住宅条例の一部改正について
10	中央公民館空調設備改修工事請負変更契約の締結について	45	平成26年度八頭町一般会計補正予算 (第11号)
12	下私都改善センター (農産物食品加工室、洗濯室及び農産加工品貯蔵庫) の指定管理者の指定について	46	平成26年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算 (第6号)
13	八頭町過疎地域自立促進計画の変更について	47	平成26年度八頭町簡易水道特別会計補正予算 (第4号)
14	第2次八頭町総合計画 (基本構想) の策定について	48	平成26年度八頭町住宅資金特別会計補正予算 (第3号)
15	八頭町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	49	平成26年度八頭町公共下水道特別会計補正予算 (第5号)
16	八頭町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例の制定について	50	平成26年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算 (第5号)
17	八頭町行政区長設置条例の一部改正について	51	平成26年度八頭町介護保険特別会計補正予算 (第5号)
18	八頭町行政手続条例の一部改正について	52	平成26年度八頭町宅地造成特別会計補正予算 (第1号)
19	八頭町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正について	53	平成26年度八頭町墓地事業特別会計補正予算 (第1号)
20	早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の一部改正について	56	平成27年度八頭町簡易水道特別会計予算
21	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	57	平成27年度八頭町住宅資金特別会計予算
22	八頭町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	58	平成27年度八頭町公共下水道特別会計予算
23	八頭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	59	平成27年度八頭町農業集落排水特別会計予算
24	八頭町職員等の旅費に関する条例の一部改正について	60	平成27年度八頭町介護保険特別会計予算
25	八頭町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	61	平成27年度八頭町宅地造成特別会計予算
26	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正について	62	平成27年度八頭町墓地事業特別会計予算
27	八頭町税条例の一部改正について	64	平成27年度八頭町上私都財産区特別会計予算
28	八頭町固定資産税の納期の特例に関する条例の一部改正について	65	平成27年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計予算
29	八頭町国民健康保険税条例の一部改正について	66	平成27年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計予算
30	八頭町手数料徴収条例の一部改正について	67	平成27年度八頭町篠波財産区特別会計予算
34	八頭町特別医療費助成条例の一部改正について	68	平成27年度八頭町大江財産区特別会計予算
35	八頭町保育所条例の一部改正について	69	監査委員の選任につき同意を求めることについて
36	八頭町災害遺児手当支給条例の一部改正について	70	指定管理にかかる施設名称の変更について
37	八頭町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	71	平成26年度八頭町一般会計補正予算 (第12号)
38	八頭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	発議2	八頭町議会委員会条例の一部改正について
40	八頭町改善センター等設置条例の一部改正について		

公 民 館

安部地区公民館の役割

安部地区公民館長 森山 大四郎



合併して地区公民館が誕生して早十年目を迎え、地区公民館の役割も益々重要なものと痛感しております。

そもそも安部地区の歴史を紐解いてみますと、明治7年安部学校として創立、以来昭和24年安部小学校と改称してから今日まで68回の卒業生が巣立っていききました。

毎年9月に安部校区民大運動会が一大イベントとして、唯一地域の活動の「繋がり」の場として栄えてきた歴史があります。

現在の地区公民館活動もお互いの心意気がベースになっているものと思えます。

昨年開催した事業の一部を紹介いたします。

- ①中・高齢者を対象とした事業―健康ウォークがあります。
- ②小学生を対象とした事業―子ども料理教室。出された食事をただ食べるだけでなく食べ物と自然環境の関わりや食べるといふ行為がいかに大切なのか親と子が参加、環境づくりの「学び」を開催。
- ③趣味・教養事業―年齢制限はありません。男の料理教室、防災ずきん、パソコンで年賀状づくり。
- ④三館合同(安部・八東・丹比)事業―それぞれの地区公民館とのネットワーク化と協同化への取り組みをすることと人的な醸成を図ることで公民館活動に拍車がかかれたいと思っております。

従って、地域振興のための「地域おこし」の一環として地域づくりの「要」となりお手伝いできればと思えます。

最後に、お互いに持っているコミュニケーションによる情報を最大限に活用し、今後は関係機関・議会の皆さんと、更なる連携の強化を重要課題と捉え公民館活動に反映できればと願っております。

定例会本会議を
ケーブルテレビで
中継しています

議会の傍聴を
してみませんか

TEL 0858-72-3975
FAX 0858-72-2641
(議会事務局)

八頭町議会 検索

月 日 曜	開議時刻	日 程	月 日 曜	開議時刻	日 程
6月4日 木	8:40	○ 全員協議会 ○ 本 会 議 1 開 会 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 4 諸般の報告、請願・陳情の委員会付託 5 町長あいさつ 6 議案上程 7 同上に対する町長の提案理由の説明 散会后 ○ 全員協議会(議案説明)	6月10日 水	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問 ○ 常任委員会
	9:30		6月11日 木	9:00	○ 常任委員会
			6月12日 金	9:00	○ 常任委員会
			6月13日 土	休 日	
			6月14日 日	休 日	
			6月15日 月	9:00	○ 連合審査会
			6月16日 火	9:00	○ 全員協議会
		6月17日 水	休 会	事務整理日	
6月5日 金	9:30	○ 本 会 議 1 議案に対する質疑 2 議案常任委員会付託	6月18日 木	9:30	○ 本 会 議 1 常任委員長付託議案審査報告 2 議案の可否決定 3 常任委員長付託請願・陳情審査報告 4 請願・陳情の採否決定 5 開 会
6月6日 土	休 日				
6月7日 日	休 日				
6月8日 月	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問			
6月9日 火	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問			

6月定例会(予定)

※変更になる場合があります

編集後記

今、当町は地方創生で俄然注目を浴びています。

SL走行の社会実験、ぶらっとびあ・やず(郡家駅)の竣工、お菓子店「スーヤ」の進出、在住者演出による当町アピールのアニメ放送開始等々です。

同じく、議会にも注目が集まる色々な取組みが求められます。

4月30日、議会構成替えがあり、当委員会も新メンバーに交代しました。みなさんに議会での出来事を分りやすく伝え、内容に親しんでいただけの編集に一同心掛けたいと思っております。

(記・川西 聡)

- 編集委員
- 委員長 川西 聡
 - 副委員長 奥田のぶよ
 - 委員 小林 久幸
 - 委員 坂根 實豊
 - 委員 下田 敏夫
 - 委員 河村 久雄
 - 委員 柴田 秀之



再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用し印刷しています

